川のおくりもの　益田の逸品

川からのさまざまな恵みが益田にはあります。


JAしまね西いわみ提供

メロン

島根県を代表する益田のメロンは、太陽の恵みを受け、肥沃な土壌と清流高津川の水で育まれています。糖度14度以上の甘いアムスメロン、薫り高く美しい網目のアールスメロンが全国の食卓へ届けられています。


JAしまね西いわみ提供

トマト

メロンと並ぶ益田市の特産。長い日照時間の下で、艶があり形も良く、熟しても果実はしっかりした、甘く瑞々しいトマトが栽培されています。なかでも糖度の高い完熟トマト「ハウス桃太郎」は、県内出荷量の９割を占めています。



わさび

急峻な西中国山地に広がる広葉樹林等の中でじっくり育つ匹見のわさびは、肉質が緻密で、すりおろすと強く粘り、辛みの中にも甘みが広がります。生食のほか、花芽やガニ芽、葉等を使ったわさび漬け、郷土料理のうずめ飯があります。

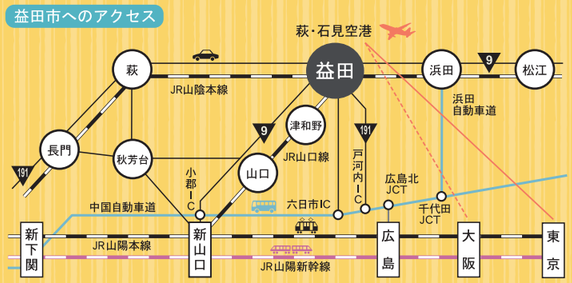


トチ餅

トチの実が多く採れる匹見町には、トチ餅の食文化が残っています。トチの実を木灰汁に浸け込んだ後に清流にさらし、再び木灰汁に浸け、更に清流でさらしアクを抜きます。このアク抜き法が、餅の味と色を左右させます。

高津川と**匹見川**は、日本遺産「中世日本の傑作 益田を味わう一地方の時代に輝き再び一」の構成文化財です。

益田市へのアクセス



［東京から］＊飛行機　羽田空港⇒萩・石見空港（約90分）運航：ANA

［大阪から］＊バス　高速バス・夜行バス（約8時間）運行：石見交通・阪神バス・中国JRバス
＊飛行機　伊丹空港⇒萩・石見空港（約60分）　運航：ANA　※夏季限定
＊自動車　中国道⇒浜田道浜田IC⇒国道9号⇒益田（約6時間）

［広島から］＊バス　高速バス（約3時間20分）運行：石見交通
＊自動車　広島道⇒中国道戸河内IC⇒国道191号⇒益田（約2時間20分）

［松江から］＊鉄　道　JR松江駅⇒JR益田駅（特急 約2時間）
＊自動車　山陰道⇒国道9号⇒益田（約3時間）

［　萩　から］＊鉄　道　JR東萩駅⇒JR益田駅（約70分）
＊自動車　国道191号⇒益田（約70分）

［九州・関門海峡から］＊鉄　道　九州各地⇒JR新山口駅⇒JR益田駅（新山口−益田間：特急 約90分）
＊自動車　九州各地⇒中国道小郡IC⇒国道9号⇒益田（小郡IC−益田間：約90分）

お問い合わせ

一般社団法人 益田市観光協会
〒698-0024 島根県益田市駅前町17番２号
TEL：0856-22-7120
E-mail：info2@masudashi.com

高津川と匹見川の景観マップ
2022年２月22日発行
【編集・発行】
益田の歴史文化を活かした観光拠点づくり実行委員会
【デザイン・印刷】株式会社フタバ



HIKIMI TAKATSU

高津川と匹見川の景観マップ

益田市内

中国山地を源とし、島根県西部の吉賀町、津和野町、
そして益田市を貫流する高津川は、
一級河川で唯一ダムがなく、清流日本一と称されます。
その支流の匹見川は本流以上に清冽です。
二つの河川は美しい自然景観はもちろんですが、
その恵みを享受した人々とともに、
美しい文化的景観（生活景観）も生み出しました。
自然と人が織りなす偉大な景観を味わってください。

島根県益田市

文化庁　令和３年度文化資源活用事業費補助金（観光拠点整備事業）

HIKIMI TAKATSU かわのものがたり

高津川下流のみどころ

高津柿本神社の門前町



高津柿本神社は、歌聖柿本人麿を祀る神社で、古くから信仰を集め、その門前町が賑わいました。高角橋の場所にはかつて渡し場があり、人や物資が高津川を行き交う拠点でした。

変わりゆく高津川の流れ

高津川は多くの恵みをもたらす河川ですが、暴れ川でもありました。歴史上、何度も流路を変えています。大きな規模のものでは、かつては益田平野を横切るように流れており、その痕跡を中島町で見ることができます。また、現在の本流は飯田町の南側を流れますが、かつては北側（現在の白上川と派川）が本流でした。このほか、安富町の河成や虫追町に河道跡を見ることができます。

聖牛

とても魅力的な名前ですが、その正体は、丸太を三角錐の形に組み合わせて水中に沈め、川の水の流れを穏やかにするためのもの。現在はコンクリート製が主流で安富町の花ケ瀬のあたりや、高津川と匹見川の合流地点などで、高津川の水の少ないときに見ることができます。


派川


虫追の旧河道


高津川と匹見川の合流地点


金地の集落では、水害対策のためか、家屋が石積みの上に建てられています。


向横田城跡脇の水路


飯田のビニールハウス群


なかのしま
中島の旧河道


桑原酒場


たかつの
高角橋




安富橋


舟橋


剣先の取水口


隅村大橋


JR山口線 匹見川橋梁



中島の旧河道と桑原酒場

中島町の桑原酒場は、高津川の旧河道沿いにあって、その伏流水を使ってお酒を醸造しています。

飯田のビニールハウス群

飯田町では、100棟以上のビニールハウスが建ち並び、高津川が運ぶ肥沃な土壌で、特産品のメロンやトマトなどが栽培されています。

横田・安富・神田の水路

剣先で取水された匹見川の水は、後川を経て水神森で三方向に分かれ、横田と安富の広い地域を灌漑しています。この地域は、江戸時代には津和野藩最大の穀倉地帯と呼ばれました。この水路について、近年、その成立が中世に遡るとも古代に遡るとも言われ、注目を集めています。匹見川の対岸の神田にも、とても趣深い水路が流れています。

金地の集落

地理院地図を加工して作成